



## ありがとうの魔法

校長 高山 直也

9月のとある週、素敵なことが続き驚きました。まず学校のポストに手紙が入っていました。

白金小の先生たちへ

まだ暑い夏の日が続いています。その中でもいっしょうけんめい働く先生たちはキラキラと輝いています。いつもありがとうご  
ざいます。これから冬が近づいてきます。体調をくずさずに、これからもよろしく願います。 白小のどこかの生徒より

～校長先生に渡して、先生全員に言ってもらえるとうれいです～

副校長先生と一緒に感動し、この嬉しい気持ちをどうやってこの子に伝えようか、どうやって先生方に伝えようかと考えました。

次の日、廊下を歩いていると、「校長先生にお手紙書きました。」とある子が手紙をくれました。その日の休み時間、今度は校長室に合唱団の子が訪ねてきて、写真とメッセージをくれました。いずれも私や先生方への感謝の言葉が書かれていました。3つとも全くの偶然です。嬉し過ぎて何度もお礼を言いました。

「ありがとう」を受け取った時の、何かこう、胸の奥が温かくなる感動と嬉しさ、自然とお互いや周りが笑顔になる魔法の言葉。この思いを次の日、これも偶然全校集会があったので話すことにしました。まず用意していたお彼岸の話をしました(なぜかこれも「感謝」からの「命」の話だった…)。

お彼岸です。自分の命は、両親から始まるご先祖様がつなげてくれた命。まずそれに感謝、「ありがとう」ですね。数えきれないご先祖様が見つない自分の命、他の人の命を大切にしようね、と話した後…。「ありがとう」と言えば…とその週に合った出来事を、実物の手紙等を交えて話しました。～中略～ 先生方は日々皆さんを思って授業や生活、お仕事をしています。苦勞もたくさんあります。だから、こうやって「ありがとう」と言われると、嬉しくて元気と勇気が出ます。校長先生からも皆さんに、「ありがとう」を言います。温かい感動の気持ちをくれて「ありがとう」。白小は「ありがとう」が溢れる素敵な学校です！

「ありがとう」の言葉は、人間の心の中に「生きる力」を沸き立たせる力をもっています。思えば日々の当たり前の中に、多忙で気付かない足元にこそ、『感謝の種』はあるのでしょう。我々大人こそ足元をしっかり見て、たくさんの「ありがとう」の魔法をかけ、子供たちに笑顔と元気と勇気を授けましょう。

10月は運動会の季節。今必死に練習しています。健康で力いっぱい運動できる体にありがとう！友達と一緒に演技できることにありがとう！思えば、大きな行事もたくさんの『感謝の種』で成り立っています。我が子の一生懸命に躍動する姿に、「ここまで育ってくれてありがとう！」ですね。

### 令和6年度

#### 特別支援教室及び学習支援員の申し込み

本校では、発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うための、特別支援教室を開室しています。また、通常の学級内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別の支援を受ける学習支援員の配置を行っています。

来年度、特別支援教室への通室及び学習支援員の配置を新たに希望される保護者の方は、担任、特別支援教育コーディネーター、または副校長にご相談ください。

締め切り 10月13日(金)

白金小学校

Twitter

毎日更新しています。  
学校HPからも入れます。

